

## 鹿屋市立輝北小学校

### 1 はじめに

本校は、鹿屋市北西部に位置し、今年で開校8年目を迎える。各学年1学級ずつ、児童数115名の学校である。

NIEの実践は3年目となり、幾分かの成果も見られるようになった。特に、子どもたちの実態として各種検査の概要をみると、国語は全般的によくできている。しかし、普段の学習や生活の様子から文章をきちんと読んでいなかったり、自分の考えをまとめたりすることにはまだ課題が見られる。

今年度は、これまでの取り組みを継続しつつ、反省を踏まえて指導の重点事項を決めて実践してきた。

### 2 本校の実践目標

- (1) 新聞に興味を持たせ、社会の出来事に興味を持たせる。
- (2) 新聞を活用し、語彙力を高める。
- (3) 文章を読み取る力を高める。(5W1Hを意識しながら読む。)
- (4) 新聞を通して意見交流をしたり、感想を書いたりすることで、表現力を高める。
- (5) 定期的にファミリーフォーカスを実施し、親子で語り合う場を設定する。

今年度は、特に、(1)と(4)に重点をおいて、取り組んできた。

### 3 本校の具体的な実践内容

- (1) はげみの時間（朝の業間活動）で、各学年に応じた取り組みを実施する。
- (2) みなみeduを活用し、週末の課題に利用したり各教科等の指導に生かしたりする。
- (3) 各教科等での新聞活用を進めるために、実践例を紹介する。
- (4) 講師（新聞記者）を招き、児童への講話や職員研修を実施する。
- (5) 校内掲示板（作品掲示・委員会による「今日のスクラップ記事」等）、校内に新聞コーナー（NIEコーナー）を設ける。
- (6) 各教科や道徳、総合的な学習の時間での新聞活用を進める。
- (7) 学校便り等で、NIEへの取り組みを保護者に知らせ、保護者への協力を求める。

### 4 実際

- (1) 「はげみの時間」の取組

朝の業間活動（15分）で月に1回、NIEの日を設定している。低中高それぞれの学年で実践している。

### 【低学年】

- ・ 平仮名・片仮名を探して書き出す。
- ・ 写真，好きな絵を探して切り抜く。



〔低学年のはげみの時間〕

### 【中学年】

- ・ 好きな記事を探して発表する。
- ・ 写真を探して感想を発表する。
- ・ 記事を選んで，選んだ理由や感想を書く。



〔中学年のはげみの時間〕

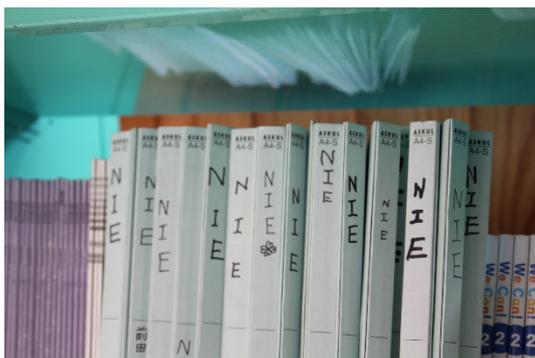
### 【高学年】

- ・ 新聞記事を探して，感想を書く。
- ・ 記事から 5W1H を探す。
- ・ オセモコの音読教室を実践する。
- ・ みなみ edu のワークシートに取り組む。

## (2) みなみ edu の活用

ホームページからワークシートをダウンロードしてはげみの時間に活用している。活用したワークシートは，今年度から全学年ファイリングしている。また，学年数点は NIE コーナーに掲示した。

また，ワークシートを利用して，新聞記事の紹介を行う学年もあった。朝の会で記事の紹介と感想の 1 分間スピーチを行い，お互いに意見の交流も行った。



〔全学年取り組んでいる NIE ファイル〕



〔朝の会の新聞記事紹介〕

## (3) 実践例の紹介

NIE について年度当初に職員研修を実施した。これまでの本校の実践例や他校での活動の紹介，学校としての目標や学年の取組内容などを確認した。また，NIE の年間の実施計画や学期ごとの学年部の実践例を提示し，系統立てて取り組むことについて話し合った。

(4) 講師を招いての授業

4年生の国語「アップとルーズで伝える」の学習では、新聞社の方に来ていただき、新聞の特色や写真の効果的な使い方、記事の書き方などを教えていただいた。より専門的な話を聞くことができ、子どもたちも意欲的にその後の学習に取り組んでいた。



〔読むのび教室〕

(5) 校内掲示板の活用

階段横の掲示板に NIE コーナーを設け、NIE についての説明を掲示した。また、各学年で取り組んだ NIE の作品も掲示した。



〔階段横 NIE コーナー〕



〔NIE 作品展示コーナー〕

購読計画によって届けられた新聞を活用して、各新聞社の1面記事の比較を行ったり、南日本新聞のおせもこのページを掲示したりして、年間を通して新聞が目につくように掲示板を活用した。



〔おせもコ掲示コーナー〕



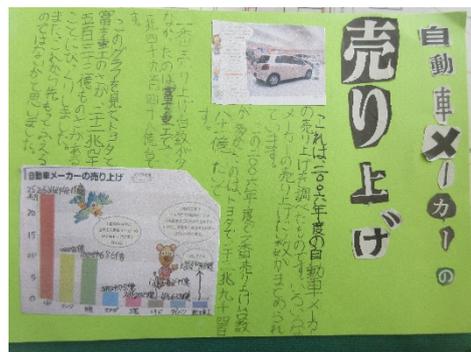
〔地域の記事や本校の投稿作品〕

また、正面玄関近くには、地域の様子が掲載された記事の紹介や新聞に掲載された児童の投稿作品を掲示した。

## (6) 授業での新聞活用

3年生の社会や国語で学習をまとめる際に、新聞記事を参考にして見出しや写真を使ってまとめることができた。

5年生の国語「新聞を読もう」で、新聞を活用して、記事の構成や書き方について確認した。理科の「天気の変化」では、新聞に掲載されている天気図を切り抜き、雲や天気図の変化を確認した。



〔新聞形式のまとめ〕

放送委員会による給食時の放送で、子ども新聞の朗読コーナーを設置している。その日の記事で気になるものを放送委員会の児童が選んで、放送している。

その他、国語の時間などに作成した詩や作文を南日本新聞の「子どものうた」や「若い目」に投稿し、掲載された。

## (7) 保護者への協力

長期休業中を活用して、4年生以上の保護者に「よむのびコンクール」への参加を依頼した。それぞれの家庭で話し合って新聞記事を選び、感想を書いてもらった。ほとんどの家庭が「よむのびコンクール」に参加してくれた。



〔読むのびコンクールの掲示〕

## 5 成果と課題

### 【成果】

- ・ 新聞の記事を読むことで、文字にもなれてきたように思える。読めない漢字などは調べ、読む力もついてきた。
- ・ 新聞に興味をもち進んで読める。
- ・ 言葉にも興味をもち、分からない語句は辞典を使って、調べることができた。
- ・ 新聞を比べながら見出しの違いや意図に気付けた。
- ・ 新聞記事を紹介することで、社会の出来事に興味を持つ子が増えた。
- ・ 掲示板を充実させることができた。

### 【課題】

- ・ 学年によっては、はげみの時間（業間の時間）でしかNIEの実践ができなかった。
- ・ はげみの時間（業間の時間）だけでは時間が足りず、意見の交流までできないときがあった。
- ・ 新聞の活用方法について、さらに職員で確認しておく必要がある。